



安達麻衣 (大山中3年)

公共交通機関の充実で広がる行動範囲

私が大山町にのぞむことは、公共交通機関を充実させてほしいということです。

私は、所子地区や高麗地区の中学校の友達に「〇ちゃんの家と一緒に遊ぼう」と誘われることがあります。でも、大山地区に住んでいる私は親の送り迎えがないと行くことができないので、不

便さを痛感します。

私がそうなら、車を運転しないお年寄りの方々は買い物などがとても不便だと思います。だから、大山地区から所子地区や高麗地区につながるバスなどが充実すれば、町民の生活も今以上に充実するのではないのでしょうか。

また、町民だけでなく、観光客の人たちにとっても町内での行動範囲が広がり、より大山町のことを知ってもらえると思います。



影山歩奏 (名和中3年)

大山町にのぞむこと

私が大山町にのぞむことは、子どもの遊べる場所を増やしてほしいということです。

私の住んでいる場所には丸広場という広場があります。昔は、そこで私の弟や近所の子どもが毎日楽しそうに遊んでいました。ですが3、4年前、住宅がいつぱいあるし、車が通って危ないという

ことで使えなくなりました。小学校からは、学校のグラウンドを使ってもいいといわれました。でも家から歩いて15分以上かかるため使うことはほとんどありません。そこで、私の家の近くにはと言いますが、子どもが遊べる場所を作ってほしいです。私は御来屋保育所跡地を使ってほしいです。あそこは、車が直接横を通るわけではないのでボールを使っても大丈夫だと思います。大山町の子どもがもっと外で遊んだりスポーツを楽しむ場所をつくってほしいです。



山下莉央 (山中中3年)

大山町の良さを知ってほしい

私は、県外や街に住む人にもっと大山町を知ってもらいたいと思っています。

大山町には多くの田や畑があります。それを活用して野菜などの収穫体験をしてみたり、実際に調理をしてみたりして、大山町の食のお

いしさを伝えたいと思います。食のおいしさを伝えることで、大山町産の野菜などをアピールでき、収穫の楽しさと思いが残ります。最近では、農業体験をしたい人が増えていると聞きます。田や畑の多い大山町には、びつたりだと思っています。町主催のイベントを開催して、大山町の良さを多くの人に知ってもらえたら良いと思います。

黄金色に光る坊領米

あとがき

9月定例会は、活発な論戦が行われ、平成30年度一般会計決算が7対8と僅差で合併後初の不認定となりました。

決算は、すでに執行されたもののため、不認定になっても法的効力はありませんが、町長の政治的責任は問われます。予算編成での対応が注視されます。

さて、議会だよりは、開かれた議会を実践するため、編集に当たっては、いかにありのままを出るだけ早く、分かりやすくお伝えするかに心を砕いています。

多くの議会だよりが2ヵ月後発行されているところ、定例会後1ヵ月以内の発行に努力しています。

全戸配布であり、より多くの皆様に読んでいただきたいと願うところです。(岡田)

【発行責任者】

議長 杉谷 洋一

【広報常任委員会】

委員長 大森 正治

副委員長 池田 幸恵

委員 西山富三郎

委員 岡田 聡

委員 西尾 寿博

委員 野口 昌博

委員 大杖 正彦

委員 加藤 紀之